

科目名称 (Course Title)				担当教員 (Instructor)	
地域経営演習Ⅱ				A 平野/井上 B 矢口/中尾 C 芦田/星	
				D 谷口/加藤 E 杉岡/三好	
				F 佐藤充/齋藤 G 江上/神谷	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
後学期	1 単位	1 年次	演習	有 (連絡済)	
授業の概要 (Course Description)					
<p>本学が位置する北近畿は、人口減少や高齢化の進行、雇用の減少、中心市街地の空洞化、地域交通の弱体化、耕作放棄地や鳥獣被害の拡大など、まさに日本の地域問題の典型的なエリアとなっている。一方で、豊かな自然や歴史的遺産などの資源に恵まれた地域でもあり、それらの地域資源を活かした様々な取り組みもまた実践されている。本授業では、地域への視察・インタビュー等の実習を通じて、北近畿地域が抱える現状の課題と、その課題への取り組みについて学ぶとともに、調査における基礎的なスキルを修得することをその目的としている。 ※本授業はフィールドワークをはじめとして学外の各関係者との連携のもと実施するため、授業予定において変動する可能性がある。毎回の出席を基本とし、授業予定については常に把握できるようにしておくこと</p>					
授業の到達目標 (Course Objectives)					
<p>① 知識 : 北近畿 (特に福知山市) が抱える現状の問題とその対応状況について説明できる ② ②技能 : 地域調査のための事前資料として必要なデータ・資料を収集できる、調査等で収集した資料を発表用スライドとしてまとめることができる ③ ③遂行能力: グループ内でコミュニケーションをとり協力して学ぶことができる、学外者と意思疎通を図り意見を交換することができる</p>					
授業計画 (Course Schedule)					
第 1 回	前期の振り返り				
第 2 回	量的調査の基礎Ⅰ (サンプリング)				
第 3 回	量的調査の基礎Ⅱ (質問文・調査票の作成方法)				
第 4 回	地域調査のための事前準備 (調査票の配布・回収法)				
第 5 回	地域調査のための事前準備 (コードブックの作成)				
第 6 回	地域調査の実施				
第 7 回	地域調査の実施				
第 8 回	地域調査の実施				
第 9 回	地域調査の実施				
第 10 回	地域調査の実施				
第 11 回	地域調査のまとめ (量的データの整理)				
第 12 回	地域調査のまとめ				
第 13 回	報告資料の作成				
第 14 回	報告資料の作成				
第 15 回	後期のまとめ ※報告会は別途開催予定。				
授業時間外学習 (Supplementary Activities)					
<p>調査の状況に応じて、文献調査やグループディスカッション等が授業時間外でも必要となる。具体的な方法については適時授業内で指示する。</p>					

成績評価の方法と基準(Grading)	
評価方法 (割合)	評価基準
授業への取り組み姿勢 (50%) 小課題・発表資料作製 (50%)	本授業は地域への訪問等を実施する演習ということもあり、授業を成立させるうえで、受講生の積極的な姿勢が必要不可欠である。そのため、成績評価においても授業への取り組み姿勢(出席、授業中の発言、グループワーク時のリーダーシップ等)を重要視する。具体的な成績評価の点数配分については、各クラスごとに授業時に個別に提示する。
テキスト (Textbook)	【書名】 新・社会調査へのアプローチ 論理と方法 【著者】 大谷信介・木下栄二・後藤範章・小松洋 【出版社】 ミネルヴァ書房 【出版年】 2013年
参考書・資料等 (Supplementary Reading)	適時配布する。
備考 (Other Information)	フィールドワークを実施する関係上、事前連絡なしの欠席は授業進行の妨げとなる。毎回出席することを基本とし、事情によ出席が困難な場合は事前に担当教員まで必ず届け出ること。
教員との連絡方法 (Contact With Instructor)	授業時に適時提示する。